



はくあい

第19号
平成23年9月（年2回発行）

社会医療法人 博愛会 菅間記念病院

〒325-0046 那須塩原市大黒町2番5号 ☎0287-62-0733(代)
URL:<http://www.hakuai.or.jp>
E-mail:kamma-hp@hakuai.or.jp

那須塩原クリニック・健康増進センター ☎0287-67-1570
在宅総合ケアセンター ☎0287-62-3311
N A S P A (フィットネス) ☎0287-67-1577



東日本大震災を振りかえる

（当院の初期対応と災害被災者の受け入れについて）

病院長 鈴木 正徳

平成23年3月11日午後2時46分、金曜日の外来の終了間際に当地でも震度6強の地震、宮城県牡鹿半島沖を震源とするM9・0の大地震は発生した。幸いなことに、当院は那須山噴火で生じた砂利層の上に建築されており、免震装置のように働いたのか大きな被害は受けなかつたが、災害拠点病院である大田原赤十字病院や、国際医療福祉大学病院は一部の病棟が損壊した。そのため、震災発生直後はフル稼働で診療にあつた。また福島原発から80km圏に存在する当院には、震災直後から避難患者様が数多く押し寄せた。

当院は高度成長時代を経て、増築を繰り返したため、6階立ての西館、5階立ての東館、4階立ての南病棟、5階立ての東館、4階立ての南病棟、1の使用を禁止し、張り紙を実施した。外来看護職員および医事課職員は外来患者の誘導に当たつた。男性の用度職員・施設職員には病院内の見回りおよび病院の外からの目視観察を行つてもらつた。各施設の点検の結果、危険区域の立ち入りの禁止を張り紙にておこなつた。

幸いなことに外壁の損壊も少なく落下來物もなかつたため、外来患者を速やかに広い駐車場に誘導した。エレベーターやエスカレーターは停止しており、前の患者を落ち着かせ

ることから長い一日は始まつた。地震が収まつた段階で、すぐに私のいた東棟2階の患者待合室に臨時地震対策本部を置き、院長、事務長、看護部長、看護副部長、在宅総合ケアセンター長を招集して被害の把握に当たつた。幸いなことに電子カルテはダウンせず、また院内ピッヂも生きており、各種口頭指示に使用できた。高層階では、キヤビネットの倒壊やガラスの損壊が認められたが、職員にけがはなかつた。全館放送を複数回実施して患者および職員の混乱を回避することに努めた。

当院は、年間700件の手術を実施しているが、当日手術症例はなかつたのが幸いであった。予定していた血管造影室にての検査も入室した直後に地震が発生したため、中止のみで事なきを得た。

近隣の災害拠点病院が半ば機能不全になつていることも考慮して、当院としては外科医師を複数名病院待機とした。怪我人・急病人などに迅速に対応するために、救急外来・内科外来1~4診・外来待合室に救急対応窓口を設置して、医師・看護師・事務を1チームとしてはりつけた。20名ほど搬入してきた救急患者の対応にあたつてもらつたが、骨折の患者、腱断裂の患者などの対応も円滑に行われた。

幸いなことに、当院の損壊は軽微なものにとどまつた。なによりも患

しており、高層階、とくに南棟医療養棟の寝たきりの患者をどうするかについては、非常に判断に迷つた。すでに現場では病棟師長の指示の下、火災の際と同様にベッドシーツを用いた避難を取行しようとしていた。しかし、客観的な状況に鑑み移動することの方が相対的に危険度が増すことを考慮して、院長権限として病棟待機の方針としたが、この対処に関しては患者に急変したものもおらず、事後に検証しても妥当であったものと考えている。

当院は、年間700件の手術を実施しているが、当日手術症例はなかつたのが幸いであった。予定していた血管造影室にての検査も入室した直後に地震が発生したため、中止のみで事なきを得た。

その後の危機管理対応としては災害対策診療会議の立ち上げと全員集会による職員の問題意識の共有をはかつた。診療体制の確保についても困難な状況になり、特に震災直後は数日にわたり非常勤医師の診療応援を行つた。

その後の危機管理対応としては災害対策診療会議の立ち上げと全員集会による職員の問題意識の共有をはかつた。診療体制の確保についても困難な状況になり、特に震災直後は数日にわたり非常勤医師の診療応援は不可能であった。この間、私をはじめとして常勤医13名ほどが、不眠不休で外来および入院の診療にあつたことは言うまでもない。さらに震災直後、大量に必要となり底をついた電池やライト、LED蛍光ランタンなどは、震災の影響の少なかつた西日本、大阪北区天神橋の加納総合病院のご厚意で緊急に調達しても現場から必要なものをリストアップして、同様に連携医療施設から

東京電力による計画停電は、当院

では3月18日に始まった。自家発電機能は軽油使用で確保されており、非常用照明の電球は通路に事前に必要最低限配置した。また人工呼吸器についても当時は9台稼働中であり、これに対する非常用電源の配備も事前に行つた。空調および暖房管は不可能となり、暖房にはペットボトルにお湯をいれて湯たんぽ代わりにする方法でしのいだ。もつとも問題となる電子カルテについては、非常用電源配置で使用できる診療ブースを5カ所決定しておき、さらにバッテリー機能を有するラップトップ型の端末を使用して事なきを得た。病院食の配膳は、エレベーターが使用不能となるため、停電時間を見越して調理から配膳までの時間を逆算して、早めの調理と配膳に心がけた。それでも配膳が停電時間に入り込む場合には、階段を使用した職員によるリレー配膳を行つたが、すべての職員が参加して円滑に進んだ（写真①と②）。

福島原発事故により30km圏内の住民の強制避難が行われた。当地は原発から80km圏であるが、近隣には多数の避難者受入れの施設があり、当院としては、震災後3月12日には避難民対策外来を立ち上げた。さらに当院では血液透析センターを併設しており、毎日70余名の維持透析を実施しているが、透析患者の許容人員

をさらに20名分確保して、相双地区からの透析患者に対応した。看護師が待避してしまって病院機能を失った南相馬市の病院からレスピレーター管理の重症患者3例を引き受けた。被災者に関わる一部負担金等の猶予措置などについて厚労省からの通達が朝令暮改であり、窓口業務は多忙を極めたが、その後の世情の不安定さからくる受診抑制が働いている感も否めない。

最後に、同門の先輩がいる石巻市の病院では壊滅的な被害に遭い、現在も病院機能の縮小を余儀なくされている。また医局で大変お世話になつた先生で患者避難を率先して実践



①階段を使用した職員による病院食のリレー配膳



②計画停電中に非常用電源による電球の光の下に
がんばっている看護師と看護助手

している最中、津波によつて殉職された方もいる。医療人として職責を全うしている中、被災された方々はさらに多数おられるわけで、その方々の苦悩を我がこととして、生涯にわたつて刻みつけて生きしていくことが同胞として必要なことではないかと考えている。まさに石原慎太郎都知事が発した金言であるが、「我欲を捨てて」今後の余生を送る必要性を痛感している。2万人におよぶ死者・行方不明者に対して深甚なる哀悼の意を表しご冥福をお祈りする。春分の日を過ぎた3月22日よりは震災前の状況に復した。



新任医師紹介

龍宮 克尚 先生

診療科

診療日

ひとこと

泌尿器科

月・火・水・金・土

お年の方だけではなく、老若男女どなたもかかわる可能性のある科です。

少しでも気になることがあればお気軽に御相談下さい。



放射線について

放射線科 大貫信春

放射線を正しく怖がる

日本のイメージがメディアによる放射能汚染の報道でダメージを受けている。内外のニュースは、事実をねじ曲げて過剰報道している。いたずらにパニックになって、夜も眠れず仕事も手につかず、どうしようか西日本に逃げようか…と多くの日本人が思えば日本の経済活動は停滞し、諸外国の人が海外へ逃げれば日本の価値は下がってしまいます。

放射線の影響より恐ろしいのは、風評被害とかノイローゼ心の障害です。チェルノブイリでもそういうことが多くみられヨーロッパ全体で約10万件の墮胎が推計されました、事故による死者よりも風評により失われた命のほうがケタ違いに多いのです。福島でも風評被害により、直接または間接的に人命に係るような事態が予想されます、みんなが怯え過ぎてしまうからです。現実に人は常識を超えて放射線を怖がり過ぎています、微量の放射線が危険という証拠はありません、政府がおこなっているのは危険を未然に防ぐための便宜的放射線の規制です。

放射線による遺伝的な影響

1000ミリシーベルトの放射線を全身に浴びると人は死ぬ、1000ミリシーベルトの放射線を浴びるとガンが5%増える。その一方、100ミリシーベルトの被ばくで人体に影響が確認されたことは無く、100ミリシーベルト以下の被ばくでガンが増えたという事も確認されていない、遺伝子の影響も確認されていないのです。

そもそも放射線で遺伝的異常が確認されたのはハエです。1920年代にマラーという研究者によって、X線を照射したハエが突然変異を起こすことが発見されました。その後、実験対象はハエがマウスになり、また広島・長崎の結果が解析された結果「人間（哺乳類）に遺伝的影響は無い」という結論になりました“人間に遺伝的影響は無い”という言葉は人々に受け入れてもらえないが、ハエよりは人間にずっと近いマウスで実験が行われ700万匹ものマウスに放射線を被ばくさせて実験しましたが遺伝的影響が起きた事実は確認されていません。広島・長崎の1万数千名を対象とした原爆調査でも遺伝的影響は確認されませんでした。

LNT仮説（※仮説です）広島長崎 Chernobyl のデータより

放射線の安全防護について、広島・長崎における健康影響調査で外から浴びた放射線が100ミリシーベルトを超えると白血病やがんが増えることが明らかになりました。チェルノブイリでは、環境汚染の中で被ばくした住民の健康影響が調査され、内部被ばくが100ミリシーベルトを超すと子供の甲状腺がんが増えることが分りました。外部被ばくも内部被ばくも100ミリシーベルトを超えると発がんリスクが高まるのです。ただし100ミリシーベルトを超えると直ちに障害が起きるということではありません、わずかにリスクが増えるだけです。100ミリシーベルト以下の被ばくは安全とは言いきれませんが、統計学的に影響が検出できないほど安全に近いレベルなのです。しかし、万が一の事を考えて障害が確認されていない少量の放射線被ばくのリスクを評価するために、仮説を立てて数値化します、この1つがLNT仮説です。

LNT仮説は放射線管理に適していて、危険を回避する為に使うと有用な仮説です。しかし少量の放射線被ばくのリスクが実際の危険度と異なることは放射線防護の常識です。それを理解したうえで、放射線管理や防護目的で使用する場合に仮説であって事実でないLNT仮説を使用しているのです。ICRP Publication103でも「LNT仮説は、集団実効線量によるガン死の計算を大きな集団の微量被ばくにあてはめるべきではない」と述べています。ICRPによる指導のための単なる作業仮説であったLNT仮説に基づき、少量の放射線被ばくをした福島県民全体のリスクを評価するような荒い外挿を行うことは科学的に正しくないです、100ミリシーベルト以下の低線量被ばくの影響には幾つかの仮説があります。先進国で法律に採用されている放射線のリスク値は、安全側に見積もられていますが科学的根拠には基づいていないのです。

最後に「放射線を正しく怖がろう」

放射線を大量に被ばくすれば障害を起こす事は否定しません、しかし放射線は常に身の回りに存在しそうにすることはできないのです、そして放射線より危険なものは身近に多く存在します。那須塩原市の環境放射線は福島原発の影響で1時間あたり0.1~1マイクロシーベルト。この地で生活すると、1年間で1ミリシーベルト、放射線の量は徐々に減り生涯に20ミリシーベルト程度の被ばくが予想されます。これをLNT仮説で計算すると「20ミリシーベルトの被ばくは1万人中1人をガンにする可能性がある」または「20ミリシーベルトの被ばくリスクは人の寿命を5.5日短くする可能性がある」という答えになります。那須塩原市の住民については長期的な健康影響はたとえ有ると仮定しても小さ過ぎて計れないレベルです。どんなに少量の放射線も過剰に恐れ、放射線がゼロでなければ納得しないという気持ちは、心情として理解できます。しかし、社会的・経済的な事情もしくは、他のリスクとのバランスを考えると、全国規模で巻き起こっている放射線への過剰な反応は合理的とは言えません。少量の放射線のリスクは「運動不足や肥満、酒やたばこ、排ガスやストレス」などとあまり変わりないレベルなのです。

看護師を夢見て…

～高校生のふれあい看護体験～

毎年、「看護の日」を記念して全国で「ふれあい看護体験」が行われます。看護師を目指す者が、医療機関で患者様とふれあいをもちながら看護の現場を体験しようというものです。

当院でも、7月9日(土)と23日(土)に計画をしたところ、近隣の12校から定員25名を上回る各日30名もの申し込みがありました。安全に充実した体験を提供するための対策として、「病院見学会」というインターシップをとおして「看護することの意義」を経験していただくことにしました。時代背景の変化とともに、高齢化社会における医療の必要性から、職業としての医療界・看護界を見つめ、それに関わる仕事に就きたいという動きを感じられます。

女子は白衣にキャップをかぶり、男子はブルーのユニフォームに身をつつみ、一日看護師任命書を受け緊張した姿で始まった体験も、透析室・リハビリ室・介護施設を見学し、各病棟と介護施設である通所リハビリ・ショートステイセレビーでの患者様と会話をしたり、足浴などで肌に触れ合ったり、食事介助を経験したり、車椅子での患者様との散歩をとおして、将来の夢に向かう喜びをひしひしと感じながら生き生きとした笑顔が見られるようになりました。「ありがとうございます」と言われる喜びも感じることができました。昼食には、病院食を摂りながら管理栄養士から治療食についての説明を聞きました。午後は、全員で血圧測定や、心音聴取、老人体験では重り入りのベストやサポーター、色つき・縁付きのメガネをかけ、ヘッドホンで聴きずらくなり、手袋で小銭をつかむこともできなくなり、老人の大変さ、危険な様子を体験すると同時に、若い自分たちの体力と健康に感謝することもできた様です。

この体験をとおして、看護師の夢をもっていた者も、迷っていた者も、看護師になりたいという目標が強くなつたという感想が多く聞かれました。那須看護専門学校へ入り当院で働きたいという頼もしい学生さんもいました。私たちと共に働く日を楽しみにしています。



那須看護専門学校 校舎の竣工式が行われました



真夏の太陽が燐々とふりそそぐ青空のもと、栗川那須塩原市長さんをはじめ、実習病院となる各施設の方々、また近隣の高校の先生方のご出席を賜り、平成23年7月9日(土)に、看護学校の竣工式が行われました。はじめに校舎2階の第3教室で、厳かに神事が執り行われ、菅間理事長、会長、上川学校長と関係者が次々に玉串を奉納し、那須看護専門学校の無事の竣工と今後の発展を願いました。その後、校舎3階の学生ホールで祝賀会を開きました。来賓の方々から「看護学校の開校を待ち望んでいる」というあたたかいお祝いの詞をいただき、当看護専門学校が県北地域の医療の継続や発展において重要な役割を果たすことになるということを痛感し、学校開設準備室一同、改めて身

の引き締まる思いをいたしました。来年の今頃は、校舎のあちらこちらで学生たちの賑やかな声がしていることでしょう。想像するとワクワクしますね。学校開設の最終審査に向けて頑張りますので、これからもご指導、ご協力をよろしくお願ひいたします。

(看護学校開設準備室より)

学校情報

医療専門課程：看護学科

就業年限：3年

取得可能資格：専門士（医療専門課程）の称号取得、
看護師国家試験受験資格、保健士・助産師学校受験資格、大学編入学の受験資格

定 員：40名（男女共学）年生制限なし

入学資格：高等学校卒業者もしくは同等以上の学力が認められた者

場 所：那須塩原市前弥六（那須塩原クリニック・健康増進センター隣）

電話番号：0287-67-1188



第10回

健康増進公開講座

特別講演

「放射線を理解し正しく怖がる」

10月8日(土) 開場13:30 開演14:00
那須塩原市黒磯文化会館(小ホール)



独立行政法人 放射線医学総合研究所
緊急被ばく医療研究センター
被ばく医療部 障害診断室 室長

立崎 英夫氏

略歴

昭 58.3 筑波大学医学専門学群卒業
昭 62.3 筑波大学大学院博士課程医学研究科修了(医学博士)
昭 62.7~ 米国ハーバード大学マサチューセッツ総合病院(米国)
クリニカルフェロー
平 1.12~ 国際原子力機関(IAEA ライブ)、電子力科学、応用局
健康課、応用放射線生物学、放射線治療課、オフィースト
オフィサー(放射線腫瘍科)
平 14.4~ 放射線医学総合研究所、国際・研究交流部、国際室、室長
平 18.4~ 放射線医学総合研究所、緊急被ばく医療研究センター
被ばく医療部 障害診断室 室長



「老化は脚から」
那須塩原クリニック・健康増進センター院長

河合 寛氏

略歴

昭 55.3 獨協医科大学医学部卒業
昭 61.3 獨協医科大学大学院修了(医学博士)
昭 62.4 獨協医科大学第1内科(心臓・血管内科) 講師
平 21.4 栃木県保健衛生事業団医療局健康増進部長
平 23.4 那須塩原クリニック・健康増進センター院長

【お問い合わせ】 Tel.0287-62-0733 菅間記念病院(月曜~金曜/9:00~17:00)

那須塩原クリニック・健康増進センター



暑い日が続いているますが、皆様はお元気にお過ごしでしょうか？水分をこまめにとり、長時間太陽の下にとどまることを避けるなどして熱中症には十分にご注意下さい。

ウェルネスNASPA 料金表			
※ 入会資格は16歳以上に限りさせていただきます。			
会員種別	入会金	年会費	利用条件
NEW ゴールド	10,000円	9,000円	会員登録料、年会費利用可能 利用回数、クラス回数無制限 ゴールド会員と同じ (60歳以下)
NEW ゴールドSP	10,000円	8,000円	
レギュラー	10,000円	8,000円	全営業時間内利用可能
ファミリー (2名以上居住の方)	6,000円	7,000円	レギュラー会員と同じ
デイタイム	10,000円	6,500円	利用回数、クラス回数無制限 午前、午後、午前+午後、午後+午前 午前+午後+午後
シニア (60歳以上)	10,000円	6,500円	レギュラー会員と同じ 60歳以上
ウィークエンド	10,000円	6,500円	午・日・祝日のみ 時間内利用可能
アフタヌーン	10,000円	5,500円	平日(月・火・水・金)の13:00~ 17:00まで利用可能(祝日不可)

※月会費は「ゴールド会員」「ゴールドSP会員」以外は月10回までの料金です。10回を超えた場合、1回につき300円かかります。

法人会員	入会金	年会費	月会費	その他
①チケット型	10,000円	20,000円	0円	チケット購入時30枚 ごとに6,000円
②会員登録 (5名以上)	5,000円	40円	7,000円	名入り登録、利用 回数10回まで

ウェルネスNASPAに新しい会員種別ができました！
全営業時間利用可能・回数フリーのゴールド会員
(月会費 9,000円) です。

※60歳以上の方は8,000円。

その他皆様のご利用回数、時間帯に合った会員種別もございますのでお問い合わせ下さい。
只今キャンペーン実施中で入会金もお安くなっています。

「足つぼリラックス」



じっくり足の裏をやわらかくしていきます。

「楽膝」



膝まわりをほぐしています。

さて、ウェルネス NASPA では新しいスタジオプログラムがはじまりました！「楽膝」と「足つぼリラックス」という2つのプログラムです。

膝の痛みの予防・改善に役立ち、足つぼを刺激しながら全体をリラックスすることが出来る楽しいプログラムです。参加された方から、「膝の痛みが減った。」「体が楽になった」など沢山のお喜びのお声を頂いてあります。皆様も是非参加してみてください！

那須塩原市春季野球大会

菅間記念病院野球部は約10年ぶりに復活し、今年度より那須塩原市野球連盟に登録。本格的に活動を再開し、総勢16名で活動しています。今年4月、満開の桜のもと、初試合「第4回那須塩原市春季野球大会」が行われました。

初試合は、9-5で勝ち、その後ベスト8まで勝ち進みました。次の那須塩原市野球連盟会長杯では、なんと決勝戦まで勝ち進みました。決勝戦は8月7日で結果は・・・・。

患者様を始めとして毎回、たくさんの方が応援に来てください、感謝しております。

各部門の勤務体制の違いで野球部全員がそろっての練習がなかなかできないことが大変なところですが、昼休み、日曜日など合間にみつけて日々練習に励んでいます。応援よろしくお願ひいたします！



在宅総合ケアセンター

ほほえみ訪問看護ステーションから

所長 山下寿美子

病気や障害があっても、住み慣れた自宅で自分らしく生活したいと思う人や入院期間短縮で自宅での療養生活を余儀なくされた人の増加により、訪問看護ステーションへの期待が大きくなりました。さて、当ステーションでは理学療法士、看護師を増員し、地域の皆様に寄り添い、在宅での療養生活が安心して送れるよう支援したいと考えてあります。あらためてサービスの内容について紹介いたします。

<訪問リハビリテーション>

訪問リハビリテーションは在宅生活を送られている方の身体機能を高めるための筋力強化、関節可動域の拡大、基本動作の練習、日常生活動作の練習、呼吸リハビリテーション、摂食・嚥下の練習、言語聴覚療法等を行い、家族への介護指導、環境設定、福祉用具の設定等についてもサポートいたします。現在、理学療法士、言語聴覚士の訪問が可能です。



<訪問看護>

訪問看護では病状、障害の観察、健康管理、清拭等、身体の清潔保持・食事及び排泄等の日常生活の援助・床ずれの予防、処置・ターミナルケア・療養生活や介護方法の相談や指導・カテーテル等の管理・その他、医師の指示による医療処置等ご本人や家族の希望や相談を受け、24時間対応しサービスを提供いたします。

いつも私達を支えて下さる「ありがとう」の言葉と笑顔に元気をいただきながら、これからも訪問サービスの質向上を目指しがんばって行きます!!!

ほほえみ訪問看護ステーション一同

菅間記念病院通所リハビリテーション事業所から

お試し利用のご案内

通所リハビリテーション（デイケア）では、一日お試し体験をはじめました。「私にリハビリなど大丈夫かな…。」「リハビリって何をするのだろう。」と思っている方は、担当のケアマネージャに相談し、是非ご利用ください。

料金:昼食・おやつ代 (450円+50円)

内容:送迎、食事、健康チェック、身体機能チェック、体操、レクリエーション他（入浴は行いません）

- ・1日コース～食事付きで送迎は一般利用者と同じ

- ・半日コース～午後実施 おやつ付で送迎あり

デイケアの1日の流れ

8:30～	送迎開始 健康管理
9:30～	入浴 パワーリハビリ
12:00～	昼食
13:00～	集団体操 個別リハビリ・娯楽
15:00～	おやつ
15:30	帰りの送迎



通所リハビリテーションの対象となる方

通所リハビリテーション事業所の対象はリハビリテーションが必要な方が中心となります。元気な方ばかりが対象ではありません。最近、運動機能が低下したとか、元気が無くなったとか、生活全般を見て、身体的にも精神的にも「低下」しているかもしれないを感じたら、たとえ重度な方であっても利用をお勧めします。悪化防止のために利用していただければと思います。

短期入院協力病院について

当院は国土交通省の指定を受け、交通事故により重度後遺障害を負われて、在宅療養生活を送られている方々を積極的に受け入れる病院となっております。医師をはじめ経験豊富な医療スタッフがお手伝いいたします。お気軽にお問い合わせください。

外来診療担当医師表

● 受付時間 月曜日～土曜日 8:30～12:00 13:15～17:30
 ● 診療時間 月曜日～土曜日 9:00～12:15 13:30～17:30

※当院は、24時間診療に対応しておりますので、急病の方はお気軽にご来院ください。

診療科		月	火	水	木	金	土	備考
総合内科	午前	西岡・藤原・五藤	方・添田・藤原	五藤 勝也	西岡・藤原・長崎	方 明	石井・添田	
	午後	石井・五藤	石井・添田	五藤 勝也	添田 武志	石井 敬一	添田 武志	
外 科	午前	深瀬 耕二	佐田 尚宏	安部 望	黒河内 順	片寄 友	非常勤医師	佐田医師：自治医大教授 深瀬医師：片寄医師：東北大 安部医師：黒河内医師：自治医大
	午後	大浦 次郎	大浦 慎祐	大浦 慎祐	大浦 慎祐	大浦 慎祐	非常勤医師	
消化器科 (内視鏡検査)	診療	竹内(午前のみ)	竹内 丙午	鈴木・岡部*	鈴木 正徳	鈴木 正徳	非常勤医師***	※第2・4水曜日：岡部医師 佐藤隆医師：大田原赤十字病院 佐藤(和)月1回 ※※第1土曜日：滝川哲也 第2：木村修：第3：三浦晋・第4：正宗淳・第5：林晋太郎
	内視鏡	休診	大原(2・4) 傅(1・3・5)	鈴木・岡部*(2・4)	佐藤(隆) 佐藤(和)***	鈴木 正徳	非常勤医師***	
循環器科 (心臓外来)	午前	西岡 修	方 明	石倉・藤原・清水	西岡・堀	河合・川嶋	石倉 義弥	石倉医師・藤原医師の診療は予約制です。(電話予約可) 堀医師・清水医師：獨協医大 川嶋浩医師：国際医療福祉大塩谷病院
	午後					西岡 修		
内分泌代謝科 (糖尿病)	午前	藤原 隆一			飯嶋 秀郎*			※非常勤医師(第1・3木曜日)～詳細はお問い合わせ下さい。
	午後							
腎臓内科 (腎不全・透析)	午前	竹内 丙午	野替 正二	野替 正二	竹内・野替	竹内 丙午		【透析】毎週木曜・野替医師 【透析】第1・3金曜：宮田医師・第2・4金曜：吉村医師
	午後							
呼吸器科 (呼吸器疾患)	午前	黒崎 史朗	池野 義彦		阿久津郁夫			阿久津医師・池野医師：大田原赤十字病院
	午後							
脳神経外科	午前	宮田 五月					※田中 裕一	※田中医師：自治医大准教授-毎月2回診療(診察日はお問い合わせ下さい) 宮田医師：自治医大
	午後	宮田 五月					※田中 裕一	
神経内科	午前		渡邊 由佳			鈴木 圭輔		渡邊医師・鈴木医師：獨協医大
	午後		渡邊 由佳			鈴木 圭輔		
小児科	午前	田中 吾朗	高橋 亜依	高橋 亜依	高橋 亜依	高橋 亜依	高橋 亜依	
	午後	田中 吾朗	高橋 亜依	高橋 亜依	高橋 亜依	高橋 亜依	高橋 亜依	
整形外科	午前	山口 哲彦	今村 直樹	那須 孝邦	今村 直樹	※倉持①③	※非常勤医師	倉持医師：獨協医大 ※整形外科外来担当表をご参照下さい。また詳細はお問い合わせ下さい。
	午後							
皮膚科	午前	藤本美津夫						
	午後	藤本美津夫						
乳腺外来	午前							大内憲明医師：東北大学大学院腫瘍外科学分野教授 毎月1回予約にて診察(診療日はお問合せ下さい) 竹原医師・大澤医師：自治医大(予約にて診療)
	午後	竹原めぐみ			大澤 英之			
泌尿器科	午前	龍宮 克尚*	龍宮 克尚	阿部 英行	龍宮 克尚	龍宮 克尚	龍宮 克尚	吉田謙一郎先生：獨協医大泌尿器科前主任教授(※毎月第3月曜午前) 阿部英行医師：獨協医大
	午後	—	—	—	—	—	—	
ペインクリニック (麻酔科)	午前	山崎 肇		柿沼 宏幸		渡辺 啓介	山崎 肇	柿沼医師・渡辺医師：獨協医大
	午後							
リハビリテーション	午前			鈴木 正徳		鈴木 正徳		
	午後							
心大血管疾患リハビリ	午前	西岡 修	西岡 修	藤原 隆一	西岡 修	西岡 修	西岡 修	
	午後							
放射線科 (画像診断)	午前			杉本 英治				杉本医師：自治医大教授 読影担当医師は週1回来院
	午後			杉本 英治				
歯科 口腔外科	午前	高橋・根本	高橋・根本	高橋 英俊	高橋・根本	根本 杏子	※高橋①③⑤ ・根本	千葉博茂医師：元東京医科大学主任教授 毎月2回 予約にて診療 ※土曜日の高橋医師の診療は確認が必要です。
	午後	高橋・根本	高橋・根本	高橋 英俊	高橋・根本	根本 杏子	※高橋①③⑤ ・根本	

那須塩原 クリニック ・ 健康増進 センター	午前	河合 寛 石倉 義弥 今川 重彦	河合 寛 石倉 義弥 今川 重彦	岩附 昭広 岩附 昭広	岩附 昭広 (古城 徹) 黒田久元* ⁴ 飯嶋秀郎* ⁵	石倉 義弥 古城 徹	非常勤医師* ³ 岩附 昭広	
	午後	河合 寛 石倉 義弥 今川 重彦	河合 寛 石倉 義弥 今川 重彦	岩附 昭広	岩附 昭広 古城 徹 黒田久元* ⁴ 飯嶋秀郎* ⁵	石倉 義弥 藤原 隆一 古城 徹	岩附 昭広	
	夜間			岩附 昭広		古城 徹 藤原 隆一		

- 受付時間 月～土曜 8:30～19:30
(ただし、月・水・土曜日は午後5時まで)
- 診療時間 月～土曜日：9:00～13:00
14:00～17:30
火・木・金曜日：18:30～20:00(夜間)
 - *1・古城医師→第1・3・5木曜日
 - *2・藤原医師→第2・4・金曜日
 - *3・月1回不定期で乳腺外来医師の診察があります。
 - *4・黒田医師→第1(午後のみ)・第3(午前・午後)木曜日
 - *5・飯嶋医師→第2・5木曜日

注意：担当医師は、都合により変更になることがあります。また、担当医師の診療日が変更になることもあります。